

(株)スポーツオーパカイト 03-3291-0802 fly@opa.co.jp 0299-44-3642 itajiki@opa.co.jp

2年間保証：以下の条件にて、販売店への出荷から2年間、無料にて修理いたします。
修理に伴う御不便と送料については、御負担願います。

1. パラグライダーおよびハンググライダー活動本来の使用目的が守られていること。
2. この取扱説明書に沿った正しい使用方法が守られていること。
3. お買い上げ後、すみやかに添付のカスタマー登録ハガキに所定事項をすべて記入の上、(株)スポーツオーパカイトまで返送していただいていること。
4. 当社認定以外の方法で修理あるいは改造されていないこと。
5. 高温・水濡れ・衝撃・放置などの異常事項による損傷ではないこと。

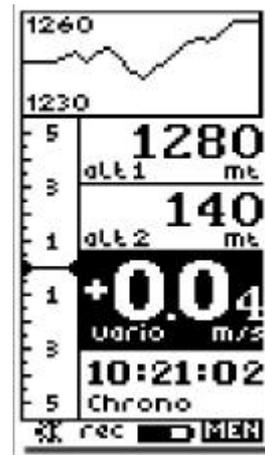
使用電池についての注意：フライヤー2は単3型の乾電池あるいは充電電池1本を使用します。
使用電圧は1.2～1.5Vです。

表示画面の種類 (表示画面の選択は、操作盤面右下のを押してください。)



第1画面

- アナログバリオ
- アルチ(高度計) A 1
- アルチ(高度計) A 2/A 3
- 平均値バリオ
- 多機能表示枠(2)
- * 速度/気圧/温度
- * 時計/ストップウォッチ



第2画面

- 高度変化グラフ
- アナログバリオ
- アルチ(高度計) A 1
- アルチ(高度計) A 2/A 3
- 平均値バリオ
- 多機能表示枠(1)
- * 温度/速度/気圧

1.1 スイッチの ON/OFF

電源の入/切は、操作盤面左上にある「？」キーを2秒以上押し続けてください。
運搬保管中の誤作動を防ぐため、一度電源を切ると5秒間は起動できなくなります。
起動直後には、バリオモデル・入力されたパイロット名・製造番号・ソフトウェアバージョン・
日付時刻・バッテリー電圧が表示されます。

1.2 キーの押し方

キーの押し方により、2つの機能を使い分けることができます。1秒以内の押し方が通常の押し方で、2秒以上の押し方は、特に「長押し」と表現します。

1.3 メニューおよび各種設定方法

操作盤面右上の「M」キー（隣接する液晶画面右下に「men」：メニュー表示）を押すと、メインメニュー画面になります。液晶画面の上部に「MENU」、中央にサブメニューのリストが表示されます。メインメニュー画面から通常画面に復帰するには、操作盤面左上の「？」キー（隣接する画面左下に「ESC」：エスケープ表示）を押してください。

サブメニューは以下の5つです。

- 「ALTI METER」 （高度計の設定 - セクション2.2参照）
- 「LOGBOOK」 （フライトデータ - セクション4参照）
- 「VLTOOLS」 （GPS・PC通信オプション - セクション5参照）
- 「MAINSETUP」(バリオなどのパラメーター・表示単位の設定 - セクション3.7参照)

サブメニュー画面の選択には「」か「」キーを押し、希望するサブメニューにカーソルを置いたら「M」キー（隣接する液晶画面右下に「ENT」：エンター表示）を押して確定してください。逆にサブメニュー画面からメニュー画面に戻るとき、そしてメニュー画面から通常画面に戻るときは左の「？」（隣接する液晶画面左下に「ESC」：エスケープ表示）キーを押してください。

それぞれのサブメニューの表示値を調整・変更するには、まずサブメニューを確定「M」しておいて、「」か「」キーを操作して希望する表示値を選び、「M」キーで（隣接する液晶画面右下に「EDIT」：エディット表示）確定します。すると表示値のみにカーソルが縮まるので、「」か「」キーを操作して希望する表示値に調整し、「M」キー（隣接する液晶画面右下に「SAV」：セーブ表示）で確定します。表示値の調整を破棄して元のままで良いときは、「M」キー（セーブ）を押さずにいきなり「？」（エスケープ）を押してください。

1.3.1 液晶画面コントラストの調整

サブメニュー「MAINSETUP」の1番目の「CTRS」で調整できます。

2.1 アルチメーター（高度計）

2.1.1 高度変化グラフ

これは縦軸に高度、横軸に時間をとって、上昇・下降の高度変化が一目で分かります。高度及び時間のスケールはサブメニュー「MAINSETUP」の「BARY」(Y軸：MAINSETUP画面の右上に番号「14」を表示)「BARX」(X軸：MAINSETUP画面の右上に番号「13」を表示)で設定できます。

2.1.2 3デジタルアルチメーター（高度計）

3地点に対する気圧高度表示を選択できます。通常画面で「」キー（「ZERO」「ALTI2-3」も印字）で、「A2/A3」枠で表示する「altim2」(A2)か「altim3」(A3)の高度計の選択ができます。また、「」キーを長押しすると「A2/A3」枠で表示している高度をゼロ設定することが出来ます。

サブメニュー「ALTI METER」からA1/A2/A3を選択して調整することができます。

(「1.3メニューおよび各種設定方法」を参照)

A1/A2/A3のそれぞれの高度表示を標準大気圧(1013.2mb)にするには、A1/A2/A3の調整を呼び出した状態で、操作盤面中央の「」を長押しして下さい。液晶画面下の左右で「NO」「YES」の表示が出るので、「?」「M」キーで選択して下さい。

2.2 バリオメーター（昇降計）

2.2.1 スーパーファーストバリオ

アルキメデスは、とても素早い圧力センサーと1秒間に20回データ更新する優れたシステムにより、とても敏感で正確なバリオ機能を有します。

2.2.2 インテリバリオ

インテリバリオは、デジタルフィルター使用によるデジフライ社独自のシステムで、無線障害を受けません。

2.2.3 アナログバリオ

液晶画面左のバー表示で、昇降速度（上昇率・沈下率）が表示されます。サブメニュー「MAINSETUP」7番の「FS_V」で、表示バーのスケールを「LOW」(1 m/s)・「MED」(6 m/s)・「HIG」(12 m/s)の3段階から設定することができます。

2.2.4 平均値バリオ

設定された時間（0～60秒）内での昇降速度の平均値が表示され、サーマリングに役立ちます。「MAINSETUP」6番の「INTE」(インテグレーター：MAINSETUP画面の右上に番号「6」を表示)で設定できます。

2.2.5 音バリオ

- ・昇降速度を音の変化で表します。通常画面表示時に盤面左下の音量キーを押すと、音量を大小に切り替えることができます。長押しすると無音になります。以上に伴い、画面左下隅のスピーカーのアイコンも切り替わります。
- ・上昇音の鳴り出しは、「MAINSETUP」2番の「V.UP」で設定できます。
- ・下降音の鳴り出しは、「MAINSETUP」3番の「V.DN」で設定できます。

- ・バリオ音のトーンを、「MAINSETUP」4番の「TONE」で設定できます。
- ・バリオ音の反応速度を、「MAINSETUP」5番の「RVAR」で設定できます。
- ・「MAINSETUP」8番の「SIMV」(バリオシミュレーター)を「ON」にすると、通常画面で「」か「」キーを操作して0.1m/sごとのバリオ音のトーンを確認することができます。安全のために、通常使用時は必ず「SIMV」は「OFF」にしておいてください。

2.2.6 トータルエネルギー補償

これは、バリオを飛行速度(対気速度)の変化と相殺させる機能です。飛行中のハンググライダー・パラグライダーの減速による一時的な上昇でバリオが無駄鳴きしないように設定ができるので、サーマルの場所がわかりやすくなります。原理としては、位置エネルギー(高度)と運動エネルギー(速度)をあわせたもの(トータルエネルギーと呼ばれます)が増加しているか減少しているかを測定します。機体によって異なるトータルエネルギーの補償割合(飛行速度の変化がどれくらい上昇につながるか)の設定は、サブメニュー「MAINSETUP」10番の「TEC」で設定できます。補償割合を%で表示します。適切な補償割合は、無風時に速度変化でバリオが鳴らないか確認するなど、パイロットの飛行経験に基づいて決めてください。高性能機ほど高い値になります。0%は補償が無いことを意味します。

注意：トータルエネルギー補償機能は、別売のスピードセンサーを接続して対気速度が測定できる状態で無いと、作動しません。

2.3 対気速度・失速警報・表示値設定

対気速度を測定するときは、別売のスピードセンサーを接続してください。スピードセンサーの接続ジャックは、バリオ本体下側の右側の受け口です。

2.3.1 対気速度表示の選択

「」キー(「SPD」「P.」「T」も印字)を押していくと、液晶画面右下の多機能表示枠に対気速度の表示を選択することができます。このとき「km/h」(時速キロメートル)か「mPh」(時速マイル)の測定単位も表示されます。

2.3.2 失速警報

失速警報音の鳴り出しは、サブメニュー「MAINSETUP」9番の「STAL」設定できます。この機能は、スピードセンサーで検知する対気速度が設定値以下に低くなってきたときに音と画面で警報を発するものであり、実際の失速現象とは必ずしも連動していないことに注意し、あくまでも参考としてください。また、失速警報音はバリオ音に優先するので、低速ソアリング中はバリオ音が機能しなくなることに留意してください。

2.3.3 速度表示較正

スピードセンサーによる検知には誤差が生じますので、サブメニュー「MAINSETUP」11番目の「KIAS」(計器指示速キャリブレーション)で補正してください。補正係数は%で表示されます。「100」%は修正なし。「110」%は表示値を大きくし、「90」%は表示値を小さくします。

警告！ 対気速度の表示修正を正しく行わないと、飛行速度の判定誤差が大きくなります。

2.4 気圧計

「**▲**」キー（「SPD」「P.」「T」も印字）を押していくと、液晶画面右下の多機能表示枠に、気圧の表示を選択することができます。このとき「Press」（圧力）の表示と気圧の測定単位「mB」（ミリバール＝ヘクトパスカル）が表示されます。

表示値補正はサブメニュー「MAINSETUP」12番の「KBAR」（気圧キャリブレーション）で補正してください。

警告！ 気圧計の調整を誤ると、気圧表示と高度表示の表示誤差が大きくなります。

2.5 温度計

「**▲**」キー（「SPD」「P.」「T」も印字）を押していくと、液晶画面右下の多機能表示枠に、気温の表示を選択することができます。このとき「Thermo」（温度）の表示と、選択されている測定単位（「°C」摂氏か「°F」華氏か）が表示されます。

測定単位の選択はサブメニュー「MAINSETUP」24番の「U_TE」で行なってください。

2.6 時計・ストップウォッチ

液晶画面右下の多機能表示枠（第1画面では下から2段目）に、時刻あるいはストップウォッチ計時時間を、「**▲**」キー（「TIME」も印字）あるいは「**▶**」（「CHRONO」「ZERO」も印字）を押すことで、選択することができます。このとき時刻であれば「Time」、ストップウォッチであれば「Chrono」（クロノメーター）の表示が出ます。

ストップウォッチ表示は、「**▶**」（「CHRONO」「ZERO」も印字）の長押しでゼロ設定することができます。

年月日・時刻は、サブメニュー「MAINSETUP」15～19番目の15「HOUR」（時）、16「MIN」（分）、17「DAY」（日）、18「MONT」（月）、19「YEAR」（年）で設定できます。

2.7 電圧計

フライヤー2は1.5V単3電池1本を使用し、おおよそ200時間、作動します。液晶画面最下段中央には電池の電圧残量がアイコンで表示されます。1.2V充電電池も使用できますが、電池残量アイコンは、1.5Vアルカリ電池新品使用時に100%表示となるようになっています。電池残量が作動20時間分以下になるとアイコンが点滅して残量警告表示が出ます。電池寿命は、極端な低温や高湿度などの条件下での使用では短くなります。

2.8 パイロットネーム

アルキメデスは電源を入れると、ファームウェアバージョン情報とともに、入力してあるパイロット名を表示することができます。パイロット名は、サブメニュー「MAINSETUP」21番の「PILO」（パイロット名）で入力できます。

2.9 言語

液晶画面に表示される言語を、英語以外のヨーロッパ言語に変更することができます。サブメニュー「MAINSETUP」26番の「LANG」（ランゲージ）で入力できます。

3. 単位

表示単位の変更はサブメニュー「MAINSETUP」22番「U_AL」で高度表示単位(メートル・フィート)、23番「U_SP」で速度表示単位(km/h・mph)、24番「U_TE」で温度表示単位(「C」セ氏・「F」華氏)が選択できます。

4. ログブック

最大50本まで、以下の内容のフライトデータを記録できます。

テイクオフの日時・飛行時間・積算獲得高度

A1表示高度・バリオ・速度の最大値と最低値

サブメニュー「LOGBOOK」を選択すると、テイクオフ日時順にフライト記録が並ぶので、見たい記録を選択して下さい。

記録されている全てのフライトデータを消去するには、サブメニューの「LOGBOOK」を呼び出した状態で、操作盤面中央の「」を長押しして下さい。液晶画面下の左右で「NO」「YES」の表示が出るので、「?」「M」キーで選択して下さい。全てのフライトデータを消去するのであれば、「M」(YES)です。

(操作方法は「1.4 メニューおよび各種設定方法」を参照して下さい。)

レコードモード

サブメニュー「MAINSETUP」20番「R_DS」で、ログブックが起動する高度変化(4秒間で1~30m)を選択できます。ログブックのレコードは、電源を切るまで続きます。

5. PCリンク

別売のPCケーブルを使用すれば、デジフライ社のウェブサイト www.digifly.com からのダウンロードでアルキメデスのソフトウェアを更新することができます。

また、サブメニュー「LOGBOOK」を選択すれば、アルキメデスに記録されたフライトデータをPCにダウンロードすることができます。

6. アルキメデス諸元

グラフィックアルチメーター / 3アルチメーター (-9999mから+19999mまで) / 気圧連動アルチメーター表示調節 / バリオ感度調整 / バリオ音鳴り出し・音量・音調 / バリオグラフ表示 + - 12 m/s / バリオ数値表示 + - 25 m/s / バリオアベレジャー 0 ~ 60秒 / トータルエナジーコンペーション(別売エアスピードセンサー使用) / エアスピード表示最大150 km/h (別売エアスピードセンサー使用) / 調整可能失速警報(別売エアスピードセンサー使用) / 調整可能気圧表示(300 ~ 1200 mb) / 温度表示 30 ~ +70 / 常時電池電圧モニター / 日付・時刻・ストップウォッチ / 最大50本のフライトデータ / 自動スタート記録機能 / 測定単位変更可能 / 液晶表示画面128x64ピクセル / 画面明度調整可能 / PC接続速度最大115 kbps / ダウンロードによるソフトウェアアップデート(別売PCケーブル使用) / 使用電池は単3乾電池あるいは単3充電電池1本のみ(1.2~1.5) / 電池寿命200時間 / 寸法 144mm x72mm x25mm / 重量(電池含む)160g